

SBIグループのCSR活動

CSRへの取り組み

企業は社会の一構成要素であり、社会があって初めて事業を営むことができます。したがって、企業は社会の維持発展のために貢献していかなければ、ゴーイングコンサーン(永続企業)として存在していくことはできません。だからこそSBIグループは、「企業の社会性」を強く認識し、「強くて尊敬される企業」を目指し、CSR(企業の社会的責任)活動に積極的に取り組んでいます。

SBI子ども希望財団を通じて活動を強化

SBIグループは、直接的な社会貢献として、利益の中から適切な範囲内で児童福祉施設などへの支援を行うことを基本的な考えとしています。2005年から活動を続けているSBI子ども希望財団は、2010年に内閣総理大臣から公益財団法人として認定され、2011年には税額控除制度適用対象法人の証明を受けており、社会的信用の保持のみならず、「特定公益増進法人」として税制面での優遇を享受しています。今後も児童虐待防止などの社会貢献事業への取り組みを強化していきます。



1. 施設への寄附

被虐待児童入所施設的环境向上のため、2012年3月期は児童養護施設のケア単位の小規模化などに目的を絞り、9施設に対し23百万円、東日本大震災による被災施設、子どもたちへの支援活動及び研修費として6百万円(1施設、2団体)の寄附を行いました。

これにより、2006年3月期以降の寄附実施金額は、累計で746百万円となりました。

2. 職員研修

全国の児童養護施設に勤務するケアワーカー東日本・西日本各50名を選抜し、虐待を受けた子どもへの治療的養育に必要な知識及び技術の習得を目指したOJTを提供しています。また、上記研修修了者向けの上級研修「SBI子ども志塾」を実施したほか、2012年3月期から新たに、継続的な研修によるレベルアップの機会の提供を目的とした「ブロック別研修」を開講し、当期は計9回の研修を実施しました。

3. 自立支援

施設退所後の児童の自立に向けた支援活動として、5施設2団体への支援など19百万円の寄附を実施しました。



「子ども虐待防止フォーラム」の様子

4. 虐待防止啓発活動

社会全体での児童虐待への取り組みを推進するため、一般市民向けの啓発活動を行っています。2012年3月期は、日本医師会との共催による「子ども虐待防止フォーラム～ゼロ歳児からの子ども虐待防止を目指して～」を各地で4回実施したほか、SBI子ども希望財団・SBI大学院大学・横浜市立大学の共催によるセミナー「気づく・救う・防ぐ～子どもの虐待～2011」を開催しました。

また、児童虐待防止の社会的啓発運動である「オレンジリボン・キャンペーン」を後援しており、毎年11月の虐待防止強化月間には、SBIグループ役職員一同によるオレンジリボンの着用、社内外への啓発活動に取り組み、2012年3月期のオレンジリボン、バッジなどの販売による寄附総額は63万円となりました。

モーニングスターによる「SRIインデックス(社会的責任投資株価指数)」の算出・公表

モーニングスターのデータを使ったSRIファンドの純資産残高(公募投信)は、約25億円(2012年3月末現在)となっています。SRIインデックスの算出・公表を通じて、企業のCSR活動を促進すると同時に、ファンド組成や投資家への情報提供などSRIという資金循環へも貢献していきます。

東日本大震災被災者の方々への支援活動

SBIグループでは、2011年3月11日に発生した東日本大震災の被災地支援のために義援金の拠出及び募集を行ってきました。

2012年3月末時点で、当社グループが皆様より募集した義援金は合計で91,296,729円となりました。また義援金の募集に加えて、SBIグループ各社では一定期間の売上額の全額または一部の寄附などを行い、その金額は2012年3月末現在で合計25,061,127円となっています。当該寄附金と、当社グループが募集した義援金を合わせた総額116,357,856円は、日本赤十字社へ被災者救済のための救援活動及び復興支援活動等資金として寄附させていただきました。